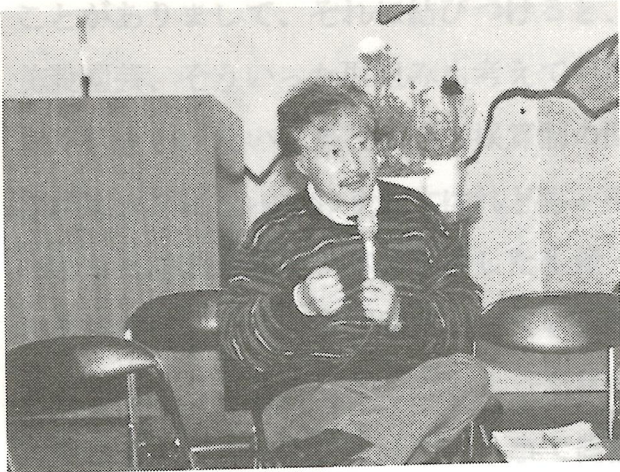


《講演》

実力派おもしろ農民の地域づくり

お茶の水女子大学講師 小松光一先生



地域の人たちでフォーラムを

小松でございます。今日の朝は筑波学園都市のホテルにおりまして、朝とび出して来たんですけど、筑波学園都市は、小諸から比べると正反対の大変近代的な都市なんですけれども、あそこは日本一自殺の多い所なんです。非常にきれいになっていて、人間が生きているという実感が全くないんです。ですから、ああいう所で行き詰ってしまうと本当に息詰ってしまうんです。農村地帯の村のお寺や寺社が腐り始めて崩壊しますと、その村のお年寄の自殺が増えるんです。さらに役場が新しくなると役場の周辺のおじいちゃんおばあちゃんが自殺するのが増えるんです。あまり役場はきれいにしない方がいいんじゃないんですかね

一。ここはあまりきれいでないんで、いいんじゃないんですか。（一同大笑い）

そこで昨日夜、酒を飲みました。仕事で行ったもんですから、夜、酒を飲んで寝ようと思いましたが。アルコールが入り過ぎたもんですから、夜寝ようと思ってもどうしても喉が渴いたもんですから、ホテルの水水道の水でしょう。飲んで寝たんです。

真夜中に、駅の便所で吐いた夢を見まして、気分が悪くて目が覚めてしまったんです。もちろん吐いてはいないんですけども、たぶんこれは水のせいですね。本当においしい水を飲んだら、そんなふうに駅の便所で吐くような汚ない夢をみるはずがないんですけども、やっぱりあまりにひどい水を飲まされたんだなァーと感じたんでしょう。今日ここで水を飲んでみてホッとしましたが、まあ水の問題については、ある程度ふれるかもしれませんが、大変貴重な問題だと思っています。

最初にですね。このフォーラムのご連絡をいただいた時に俺は、ふっと、これは地元の若い衆が地元のその…何というか、こんな「まち」ではいけないとか、問題意識を持った人達でJ Cの人達が結構このよう

な事をやる訳ですけども、このような人達がやっているのかと思って来ましたら違うんですね！役場がやっているんですね。これはすごい事だと思ったんです。誰だってこんな「放・俺・夢」の名前わかんないですよ。何ですか、この「放・俺・夢」てのは。「俺を放って夢を！」こういうわからない事を、勝手にやらせてしまう市長が偉いんですね。無関心じゃないんですかね。……（一同大笑い）

まあ、しかし、こんなセンスを持ってですね、つまりどう考えても民間がやっているに違い無いと思わせてしまうような、自由・活発なセンスで、まちづくりのための勉強会をやっているというのは、なかなかすごい事だなァーと大変感心します。あまりお役所仕事じゃない形でもって今後とも続けてもらいたい。そうしないと自由にならないですよ。役場というのは、しばしば、小諸は違うかもしれないが、役場の職員という者はだいたい「休まず」「遅れず」「働かず」ですから、そうしないと出世しないですから、働きすぎると出世が悪くなっちゃうんですからね。僕なんかまるで15年間係長だったんですから。働きすぎて！ですから、これを発展させていただきたいと思いますが、そのためには、この「こもろフォーラム」の実行委員会もあるみたいですけども、これを役場主導にしないで、やっぱり地域の人達が本当に自分達

の「まち」の事は、「自分達が考えて行くんだ！」「自分達の手で地域を造って行くんだ！」というような実行委員会に、やっぱり民間型にもう一步前進させてもらいたい。小諸には人材がない訳じゃないですよ。僕も何人か知ってますけども、たとえば小諸には、佐藤タケオさんという農業やっているやつがいますけども。今日は、横田さん、僕といっしょにアジアに出かける空手の先生がいますけど。少林寺拳法ですか、進めたりしていますし、その意味では大変りっぱな人材はいると思うんです。人材なんて3人いれば十分ですからね。「3人寄れば文殊の知恵」と言うんじゃないですか。3人いれば何でもできちゃうんですよ！ですからその意味では、来年も是非、地域の人達が本当に自分達の「まち」や将来を考える人達が中心になって準備をすすめられたらもっとよいものになるんじゃないかなァーと感じました。

やがて田舎が見なおされる

僕は小諸に来たのは初めてなんです。佐久には何度か来ているんですけども、近いですよねー東京から！2時間ちょっとですから。将来やっぱり小諸あたりはあと10年以内位には、いや5～6年の間に、小諸あたりは脚光を浴びる地域になります。何故かといいますと、今は東京に一極集中しています。先ほども話がありましたけれど

も、東京のド真中で結婚して、2人でもって2間つづきの部屋のアパートを借りる、マンションを借りたとしても、本当に15万~16万円とられちゃいます。僕は東京の隣の千葉に住んでいますけども、東京の地上げのあおりを喰ってしまして、僕の家付近なんかも民間のディベロッパーが住宅地を造っていますけど、だいたい5千万円ですよ。建て売り住宅で。この間建売の社長さんと話をしていましたら……

「小松さんねえ、どうせ我々はつまり都会の千葉市ではなくて、東金市千葉の田舎にいわば団地を造るんだから、これはやっぱりだいたい広い敷地で造りたい。そうしないと田舎に来た意味がない」…と言うから、…「それはそうだよ。何坪？」…「50坪」…これじゃ広い敷地でもなんでもないよ！だって50坪じゃ、30~25坪の家を作ったらいっぱいになっちゃうよね。緑がありますから。まあしかし、こうやって東京から脱出して千葉に家を建てますと5千万円かかるんです。

この5千万円を借金して作ると、1億円返すようになるんです！金利がつきますから。1億円もかけても、こんなのだいたい借金が終わる頃には私が壊れるんですから。今の家は、壊れるならいいけど、せがれや娘はこの家に住まないですから。僕は48才ですよ。もう娘はアメリカに行っちゃっていませんから、帰って来ませんよ。3月

に結婚しちゃうんですから。だからもう勝手にしろと言っているんです。僕なんかそのうちになんとか青い目の孫なんかできると思うんですけども！ そんな訳で住みやしないですよ。せがれがいますけども、せがれがいま東京にいて、東京の方が便利だから、あんな田舎に来たくないと言っているんです。来ないんですよ。だから来るなって言っているんですけど！

ですから、そのような状態ですから、そうしますと最近、つまり大きな企業なんかの場合は、自分の会社において1億円も借金を払いながら勤められたらたまらないですよ。そんなんなら、もうちょっと不便な所に住んでもらって、3,000万円位で家を建てて、代わりに新幹線で通勤してもらおう。と言うのは、だんだん出来上がっている訳です。だいたい東京から小山、栃木の小山あたりは新幹線で通勤圏内に入る。で、小山あたりのその周辺で塩原といった所でもって家を建てますと3千万円位かかる訳です。だいたい小山から東京へ1時間です。新幹線で。1時間といいますが1ヶ月間の定期代、新幹線の定期代が約10万円、交通費がかかる。すごいなァと思うけども、これは月々10万円払った方が、つまり1億円の家に住んでもらうよりよい訳です。したがって、むしろ積極的に企業の方も田舎の方に住んでくれと言う流れが出てきています。そうしますと、これが1

時間の小山でしょ。もうちょっと行きますと、たとえばさらに2時間行きますと仙台ですから、仙台に行ったらまた高いです。だからせいぜい小山から福島周辺の所に人々が動いて行きます。

逆の方向と言いますと2時間で名古屋です。名古屋まで行っちゃいますとこれは高いですから、そうすると静岡の田舎あたりで止まる訳です。このようにして東京の一極集中の再編成がこれから行なわれていく、そうしないと東京がパンクしちゃいますから。そうしますと再編成がさらに進んでいきますとどうなるかという、たとえば、山形県朝日町に時々行くんですが、この山形の朝日町というのは、東京の羽田空港から山形空港まで45分、それから山形空港から朝日町まで40分、1時間半で行っちゃうんです。そうしますと、小山に住んでいると…、ところが夜！だいたい東京のサラリーマンは夜の10時、11時まで仕事しますから、赤坂あたりの飲み屋へ行きますと、夜の10時頃からです。その一言ってみれば駅前一杯飲み屋みたいなのあるでしょ！サラリーマンが行くような、にしんの何とか、冷ヤッコと書いてあるようなそういった所が夜の10時頃からはやり始めるんです。つまりその頃に仕事が終わるんです。サラリーマン達はそんなもんですよ。先ほども申しましたけども、東京の方はもうメチャクチャですよ。僕の友達なん

かモバイル石油の部長やってるんです。この友達は太平記の末裔ですから、足利幕府の末裔なんです。もと男爵ですよ。当然なんですけど学習院を出ていやがるんだよ。そいつが僕の家近くに住んでいますから、東京から僕の家に来るのにだいたい1時間それから千葉市からさらに1時間、2時間から2時間半かかるんです。これを毎日通っているんですよ。こいつはモバイル石油の部長ですから、ほとんど宴会要員なんです。毎晩宴会やっているんです。それで夜帰ってくるのが12時、1時ですからね！それで6時半には起きて行っちゃうんですよ、これ！これはすごいですよ。企業戦士中の企業戦士ですね。

このあいだ僕は彼の奥さんと仲がよいので遊びに行ったんです。タイの友達が2人遊びに来たのでそいつを連れて行って、あそこは夜遅くじゃないと亭主が帰って来ないからいいと言って遊びに行って宴会をやっていたんです。12時頃亭主から電話があったんです。「今、六本木にいる。今から帰るから！」そうしたら奥さんが「帰って来なくもいいわよー…」と言ったって、帰って来るんですからね！帰って来たら午前2時ですよ！それから僕らが飲んでいたもんですから、いっしょに飲んで、朝4時まで飲んで、6時に起きて飛んで行っちゃうんですから。僕らはすっかり寝ていましたけど。

そのような生活をしてますと、毎日小山まで帰れなくなってくる。そうすると、つまり金、土、日は家にいる。小山にいる。そして月曜日の朝早く飛び出して行って、月、火、水、木と東京の会社の寮とかね、最近は何と言うんですか、階段ベッドのような、何と言うんですかね…そうそうカプセルホテル住いのサラリーマンが増えていくみたいですね。ひどいもので、精神的にはまいっちゃうんですね。あれも自殺の原因になりますね！

そうしますと、つまり二重生活になってきます。二重生活が非常に悲劇のように言われていますけども、そうじゃありません。これからは、マルチリビングと言うんです。そうすればなんとなく格好いい訳ですが、そうするとつまり日常的には、ウィークデーには東京にいる。週末は小山にいるという事になってきています。マルチリビングになってどうなるんかと言うと、もうこれは日本中どこに住んでも同じなんですよ。だって、小山からこっちに帰る事を考えれば、山形に住んでいてね。住んでいて、それでここからマルチリビングで行っちゃえばいいんです。そうしますと往復の航空運賃が2万円。山形、東京間、そうしますと週4回 $2 \times 4 = 8$ 、8万円です。つまり飛行機通勤ができるようになってくる。だから竹村健一なんか最近では全国一律1万7千円位にしろと、航空往復運賃を

健一は言い出した訳です。それはそうだと思います。僕の家から東京に出るのに2時間半かかる訳です。それが東京から山形の朝日町まで1時間半ですよ。僕の家から東京へ行くよりか、山形から東京へ来た方が近いんですから。もう山形へ住もうかと考え始めているんです。僕は。

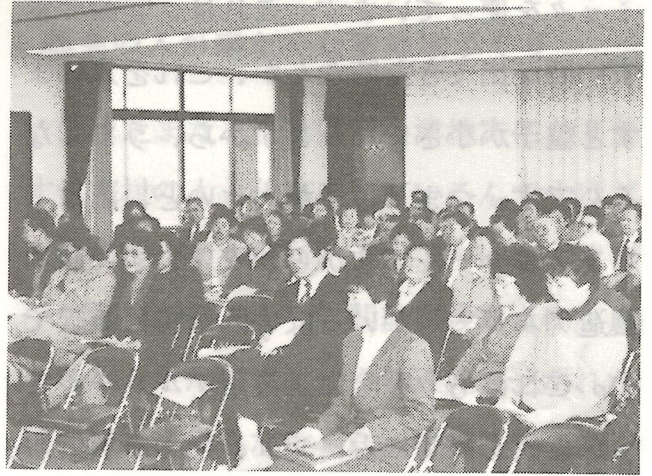
そしたら、朝日町の企画課の課長が、ちょうど農林省の金使って、新農構でもって農住構想をやる。ついでに小松さんにいい家を作ってくれると言うんです。どさくさにまぎれて、何でも作っちゃえばいいんですね。そこに僕が勝手に住めばいい訳ですから。朝日町は住んでもいいかなァーと思っているんです。

もう一つは、北海道に住んでもいいかなァーと思っているんですよ。北海道常呂町という町があるんですが、ここは2年前にS・B軍団、あのマラソン軍団がみんな死んでしまった所ですが、あそこの町は、これは1時間半で羽田から来ます。女満別空港まで。女満別からはこんどはその町まで20分ですから、これはもう約2時間で行っちゃうんですから、これだって僕の家よりも近い。そこにたまたま遊びに行きましたら、ちょうどいい学校があるんです。小学校が！ その小学校は、先ほどもこの小学校の話も聞きましたけど、生徒数が12名いるんです。これは去年の話。今年6名、来年3名、再来年つぶれる。それは

そうですよ。小さい学校でございまして教室が3つあって、体育館があって、そして学校の前に川が流れていて、学校の中の庭でもって子供達が、鮭を飼っているんです稚魚を！これを放すんです。夏から秋にかけて、グーンと鮭が上ってくるんです。子供達が学校の行き帰り、今日も鮭が帰ってきたと言いながら通う学校なんです。それに…スキー場がついているんですから。そこに遊びに行ったらPTAの人たちが集まって「学校がなくなってしまう」まちの文化が、集落の文化が、集落のコア、中心がなくなっちゃう。それで困ったと言うんでちょうど僕が行ったら、「小松さん、もらってくれねーかい……て」 もらう事にしました。ですから北海道の小学校を1こもらい、山形ももらって来たんです。そのように考えますと、これはもう、日本中がいわば居住空間になってきます。だいたい東京から2時間なんていうのは、むしろもう絶好の場所ですよ。温泉もあるでしょ。アルプスもきれいに見える。水はおいしいということになりますと、これはもう小諸というのは、僕は、何もしないでいるとダメですよ。注目しませんけども。これはやっぱり新しい定住圏構想の中に位置付けする可能性は十分あると思います。

おいしい水は2つのポイント

水の問題だけちょっと試してみます。



水というのは2つのポイントがあるのです。本当においしい水というのは、小諸の水もおいしいですけども、本当においしい水とは、水の粒子が小さい事なんです。水の粒子が小さければ小さいほど水はおいしいんです。ですから山の自然の水が一番おいしい訳です。つまり野や山ん中をダーと下て行く訳でしょ。そのうちどんどん粒子が小さくなっていく訳で、その小さい粒子の水がおいしいんです。それに対して澱んだ水。澱んだ水は粒子がどんどん大きくなっていきます。だからまずいんです。だから最近、農業やっていくんでも、水の粒子の小さい水をたくさん作物に吸わせてやらなくちゃいけないんで、水の粒子が小さくなければ水を吸収できないですから、作物は。ですから最近、たとえば農業をやっている人達なんかも遠赤外線セラミックを使う人が増えています。つまり水を遠赤外線セラミックを通して水を撒く。そうしますと、遠赤のあれでもって、水の粒子が小さくなっちゃうんです。僕なんかも遠赤外線セラ

ミックを使っています。これは、宴会でまずい酒が出てきた時なんか、これを入れま
すと粒子が小さくなりますから、うまくな
るんです。つまり粒子が大きいと、酒は
水+アルコールですから、安いまずい酒は
醸造アルコールがいっぱい入っている訳で
す。これはもう完全に工業用アルコールで
すから飲んだ時に舌にビリッとくる訳です。
こんなまずい酒飲ませやがってと思う訳で
す。よく結婚式場に行ったりすると、ひど
いのが出ます。たいがいの時は、僕は日本
酒を飲むのを止めてビールに切り変える訳
です。もしくはもっとうまい酒飲ませろと
文句を言ったりするんですけど、こんな時
にどうしようもなく飲まなくてはいけない
時ってあるじゃないですか。この時にこの
コップの中に遠赤外線セラミックをぶち込
みます。そうすると、これが小さくなる。
粒子が！ つまり醸造アルコールがどんど
ん小さくなり、舌にビリッとこなくなる。
ですから、そういった意味では水の粒子が
小さいほど、澱り水でない事が、まずおい
しい水の条件だから、東京の浄水場の水な
んか飲める訳ないですよ、当然！

千葉県の水だって、沼の水を使っている
んですから。僕はちがいますけど。僕は井
戸の水ですけど！ その沼なんか、日本一
きたない沼なんです。昔はあれですから。
農家、養豚農家なんか、豚コレラで死んだ
りすると、みんな全部埋めちゃいますから

賢い人は保健所に見つからないように沼に
沈めちゃうんです。時々豚が浮いてきまし
たよ。そんな澱り水を使う訳ですから、う
まい訳がないです。しかも夏なんか、なお
さらまずい訳ですよ。東京になんか行くと、みなさんは飲む気
にならないでしょ！ あれは基本的に水はま
ずい訳です。

もう一つはミネラルです。つまりミネラ
ルがたくさん入った水は、はじめて水は水
の役割を果たすんです。山や森をちゃんと伝わってきたものでない
と本当の水にならないんです。ミネラルに
は、たとえばカルシウムとかマグネシウム
がありますが、これは必ず、イオン活性し
てないとダメなんです。だからカルシウム
イオンのようにイオン活性してはじめて、
つまり体の中に吸収されるのです。ミネラルはどんな役割を果たしているかとい
うと、たとえば細胞の中に染色体があり
そして核があります。染色体が全部の情
報を持っている訳です。たとえば、ケガを
した。血が出た。血を止めなくてはいけな
いって血を止める為のいろんな作用をし
たりする。この染色体が「よし」とか言
って何かに命令してやらせる訳です。この
時に血が出たよと言う伝達を、この神経
細胞が聞く訳です。その時、その細胞の
ところに門番がいるんです。この門番が
ミネラルなんです。特にカルシウム、だ
からカルシウ

ムが足りなくなると情緒不安定になる。反応が鈍くなる。だから子供が怒りっぽくなる。つまりカルシウムはそのような作用をするのです。ですから今の都会の人達は特に子供達は圧倒的にミネラル不足です。特にカルシウム不足です。そして水道水は塩素殺菌してますから、完全にCaclでもって、つまりミネラルが全部固定化しています。何の役にもたたないミネラルが入っている訳です。だから東京なんかで売っているミネラルウォーターがありますが、ミネラルウォーター全部あれは塩素殺菌してありますから、あれはミネラルでもなんでもないんです。ミネラル分は入っているけども、イオン活性してないから、あんな物とてもじゃないけど、浄水機でもって浄水して飲む水と変わらないです。

六甲の水ありますね！あれなんかすごいですよ。まず基本的に塩素殺菌してますから完全にミネラルが全部固定化して何の役もなさなくなっている。しかも六甲山なんて大ゴルフ場ですから、だから六甲の水は農薬を飲んでいるようなもんじゃないですか。あれ、大変ですよ！まあ飲んでみて下さい。そう考えますと、つまり都市をとってみるならば、これはやっぱりもう、ちょっと都市には住んでいられないという状況になりつつあります。

都会の人が来なくなる地域づくり

僕はたまたま福島県南会津地方にありますが伊南村の人と仕事をしているんですけど南会津地方7ヶ町村あるんですけど、その7ヶ町村が過去10年間農業後継者は1人もなかったんです。つまり百姓のせがれが誰も百姓をやらなかった。それに対してUターンが10人いたんです。Uターンの10人ともう1人は北大を出て、なんか百姓をやりたいと言ったやつがいたんです。つまり新規参入で1人入った。10年の間に11人農業に参入して来た。7ヶ町村ですから1町村1人か2人ですよ。そんな状況の村でした。そうなりますと、伊南村は700世帯あるんですけど、これがどんどん過疎化が進んでいって、あと10年後には、おそらく600戸位になっちゃう。そうすると、屋根の雪降しも大変だ。村が崩壊する事になってしまう。その伊南村は農業後継者はあてにならないと！みんな勉強すればするほど、学校へ行けば行くほど、百姓をやらなくなっちゃう。これはもうだめだ。後はもう都会の人間をだまして連れてくるっきゃないよという事で、小松さん、なんとかならないかと言うから、僕は東京の人間をだまして20~30人連れてきちゃおうと企画を練っているんです。

この秋、9月か10月頃に、東京のド真中で「東京のサラリーマンやめて百姓にな

ろう」こんなシンポジウムを1000人規模でやろうかなって！これは集まりますよ。多分。こういう状態ですから、こんなふうに考えているんですけども、これからうーんと脚光を浴びてくると思うんです。脚光を浴びてくるような、やっぱしまちやむらにしなければいけない。その時に都会を救えるようなまちにしなければだめです。つまり、都会の亜流になったり、東京の人間が、こんな所に住みかねーなァーというまちやむらになっていたら、これは何の脚光浴びても何の意味もないです。だから最近、朝日町なんかも、町が定住促進をしなければいけないと住宅開発をするんですね。結構高い。坪3万円位で。こんなような住宅開発をしているんですよ。よくある、つまり碁盤の目のような！これでは誰も入らないですよ。入る訳ないでしょ！だって東京にいたって同じだもん。こんなのは東京のニュータウンにいと変わらないですよ。わざわざ山形の田舎まで不便な所まで行って、またニュータウンに入ったら意味ないじゃないですか。誰も入らない。「田舎の本」というのが出ているんです。その本の中に、5軒朝日町の古い農家の家を売り出したんです。土地付で600万円とか1千万円とかで。これは一瞬にして売れちゃった。それはそうですよ！つまり都会の人達は「東京離れてこんなふうな住み方をしたいなァー、中

こんなふうな暮らしをしたいなァ」というような物を田舎に求めて、初めて飛びつくんであって、こんなニュータウンのちっぽけな物を作って、来る訳ないですよ。地元の人達はいいですよ。朝日町の人達は、もうちょっと便利な所に、いやな山奥から、もうちょっと町の便利な所に住みたいと言って来るでしょうが、わざわざ都会から来て、ニュータウンのちっぽけな所に入る事はあり得ない、と考えるもいいんじゃないかと思うんです。



知恵を生かしておもしろ農業を

本題に入りたいと思うんですが、先ほど清水さんがおっしゃっていたんですけど、小諸は人口約4万4~5千人ですか。人口4万4~5千人というのは、これは4万4~5千人それ自体は消費者集団ですよ。そして十分に消費者がいっぱいいるんだという事は柳沢さんが実践ですでに証明済な訳です。これからは、とりあえず特に農村地帯は高齢化が進みまして、大きな市場を相手

にして大産地をつくって行く事はしだいに不可能になってくる。なぜ不可能になるかという、日本の農業はこれからこう変わって行くんですね。今、日本の専業農家、日本の農家全体が約420万戸あるんです。日本中に！ そのうちの専業農家が60万戸あります。全体の農家のうち60万戸が専業農家、この60万戸の専業農家のうち27万戸約40%が高齢者専業です。つまり高齢者専業とは、60才以上で農業で頑張っておられる人達です。いぶし銀のように頑張っている。これはどのようになるかという、つまりこの40%は10年後にはやめちゃうということですよ。今はいぶし銀のように光っているけど、そのうち光がなくなってしまって、おさらばですね！ ですから日本の農業は10年後に農業の本格的な担い手は半数になると考えています。さらに20年後位にどうなるかという、20年後位はこうなります。

去年の新規学卒就職者つまり高卒や大学を出て百姓になった若い衆は1,800人です。一昨年は2,000人、今年3月に学校を卒業して就農する人は、なんぼいるか？ 日本中でおそらく1,500人前後でしょう。だって昨年台風で九州のみかんが吹っ飛んで、青森のリンゴが吹っ飛んだでは！ 私のも台風の直後に青森へ行ったんですけど、ひっくり返った木はまた埋め戻す事はできないそうです。あれはもうはずして、また

新規に植え直していく。そうしますと、密植でやってもまた元のリンゴが採れるようになるのに6年もかかる。6年間無収入です。無収入のところに、お父さんがせがれに、「お前、悪いけど金ねーからな、家で百姓やってくれ！」なんて言えますか。言わないですね、これは。「家はもうだめだから、お前どっかへ勤めろや！」と言いますよ。それで1,500ということになってくる。もっと状況が悪くなって1,300以下になると、これは政治問題が起きる可能性がある。

いずれにしても、このような状態になっている訳です。それはどういう数字かという、たとえばダイエーというスーパーマーケットがあります。あのスーパーダイエーの新入社員の数が2,500人つまり日本の百姓が束になってもスーパーダイエーには勝てない。とどのつまり、いわば日本の農業生産の崩壊していく。だからダイエーはちゃんとした球団を持つでしょ！ 全農は持てない。まざまざ実力の差を見せつけられる訳です。

そのような状況になりますと、これはもう医者になるよりもむずかしいですからね。医者になる数は7~8千人いるでしょう。お百姓になる数は、医者になる数よりもはるかに少ない。医者になるあいつらの $\frac{1}{4}$ になっちゃう。百姓が減っても、医者が増えるところもありますが、そんな状況になっ

てくる。そうしますと、仮にひいき目でみて、毎年2,000人としましょう。そうしますと20年後、なんぼ残るか。これはだいたい簡単なんです。だいたい農家の人は日本中見ると30年農業やるんです。30年か40年。25才から本気で始まって、55才、65才、できれば65才でやめたい。でもやめられない。しかしやめたいと思ってもやっている訳ですけど、40年としましょう。専業農家は、20年ないし30年後には8万人になっちゃう。これにUターンを加えて15万人位としましょう。今いる専業農家のうち約 $\frac{1}{4}$ ~ $\frac{1}{5}$ になっちゃう。これでよく言われるように、日本の農業は存亡の危機だと言う訳です。どうなっちゃうかという、日本の農民の問題とは関係ないです。だって残ってる人は残ってるのですから、残ってる人が必死と農業をやっていけばいいんですから。

このように日本の農業が崩壊しますと、これは食糧問題になります。食糧問題になって、つまり農業問題は20年後いや10年後考えましても、農業問題は都市問題になります。都会の問題になっちゃう。なぜかという、食糧問題になっちゃう。食糧が買えない。もうすでに1991年から日本の農業全体として、食糧不足局面に入ります。このあいだ横浜の連中が「もう俺らが作っている野菜は、とてもじゃないけど、都会の貧乏サラリーマンは喰えないじゃな

いかなァ…」と話していましたよ。じゃー貧乏人は何を喰えばいいんだ！これは輸入野菜を食べるんですね。それでは食糧危機が来るかという、これは来ないと思います。喰い物は圧倒的に足りなくなるけども食糧危機までは来ない。それはなぜかという、日本の行政はなかなか賢いですから喰い物をかき集めますよ。世界中から。それから足りない物は加工食品で取りあえず「カップラーメン喰ってくれ！」とかね。そうしますと食糧危機は来ないんだけども何になるかという、食糧が非常に数少ないお百姓さんが作る食べ物、おいしくて安全で…安いとは別ですよ。「おいしくて」「安全で」「安い」喰い物ありますか。ある訳ないですよ！だから安くて、おいしくて安全な物はあり得ない。ですからとりあえず、おいしくて安全な食べ物が極く少しできます。そして、それに対して、こっちの方はどうなるかという、圧倒的に喰い物の生産能力が落ちる訳ですから、これは残るものは何になるかという「エサ」になっちゃう。「食べ物」と「餌」の違いがでてくる。日本の都会は全部エサを食べるようになっちゃう。ということになります。

そんな事で、益々さっきの話を延長線上で、やっば！「こんな都会には住みたくなくなる」そんな気持ちになってくる。ですから、いろんな意味で、農村・農村地域に対

する志向性みたいなものが、本当に強まっ
て来ると思います。

この間、僕らの仲間5人で集まって、酒
飲んでいたんですけども、5人が5人とも
全員、千葉県人じゃないんです。僕は北海
道だし、あとの2人は九州だし、あと2人
は東京、だからみんな千葉の田舎に住ん
でいるんです。九十九里の海岸地帯です。み
んな酒飲んで話していたら「死ぬ時だけは
千葉で死んではだめや！」と言うんです。
なんでやと話したら、なにしろ千葉県第3
区ですからね！浜田幸一先生がおられる所
ですよ。りっぱな所ですよ。僕は東金市
に住んでいますが、東金の隣の町、成東
町というんです。これはすごいですよ。ゴ
ルフ場誘致して、誘致してやるからと言っ
て熊谷組から1億円ふんだくったんですか
ら。ふんだくってその内、半分町長の
ポケットに入れて、残り半分を町会議員に
全部配って、その町会議員みんな、ドーン
と韓国の濟州島に行ってさんざっぱら遊んで
帰って来たんですから。それでみんなつか
まっちゃった。それで町長がくたばって
見てみたら、背中に倶利伽羅紋、上から下
までヤクザもん、1億円で騒いでいたもん
ですから「こんな所にいたくねーや！」と
言ってですね、それでどこに行くんだらう
という話になって。そしたら俺がさっき話
した南会津の伊南村がいいぞと聞いた訳で
そこに1,000坪位土地買って、そこにみんな

なで共同生活しちゃったらという話になっ
てね。僕は行きたくないけど。だって北海
道にありますから。そんな話が出ているほ
ど、つまり東京の方は崩れ始めて来ている
と思うんです。たぶん、おそらく信州の方
から東京に勤めている人達なんかも、やっ
ぱり定年待たないで辞めるんじゃないです
か。定年待たないで辞める傾向は、うーん
と強まると思います。そしてなるべく早く
故郷に帰って来る。その時にやっぱり地域
農業みたいなものが、きちっとしてないと
帰るに帰れなくなっちゃう。

そのような事になりますと、つまり「エ
サ」がどうなるかという、これはもう仕
方がないですよ。餌を喰って生きていただ
くしかないという事になる訳です。僕は大
丈夫ですから。僕は「餌」を喰わないで済
むような体制ちゃんと組んでいます。だっ
て仲人10組もやっているんですから。10
組もやりますと、日本中の食べ物、全部外
で手に入る。6月頃になるとビワを喰いた
いと思ったらビワの産地の方で仲人やった
その家に電話して「ビワ喰いたくなっちゃ
ったなァー」なんて電話する訳ですよ。
日本で一番おいしいお米！新潟県の魚沼こ
しです。魚沼の方に一人いますから、塩沢
農協管内です。電話するんです。「ここは
かの有名な偽こしひかり事件の長野県から
だよ！」って。長野県で、なかなかハシこい
ですね。この

あいだ青森県へ行ったら言っていましたよ。みんな「フジ」とか何とかリンゴの新種を開発し、改良したのは、全部青森の百姓と青森の試験場、それを商売にしたのが全部長野の百姓だって。「青森の百姓は生き甲斐を手に入れて、長野の百姓はみんなもうけを手に入れる」。いろいろとこのようになってきますと、それはあらためてもう一度、自分達の地域を見直して行く必要が出て来ると思うんです。それはやっぱり、先ほどの掛川さんや柳沢さんなんかの実践だと思うんです。

たまたまこのあいだ島根県に行ったんです。赤来町という町なんです。こんな町なんです。もうほとんどが「日本昔ばなし」みたいな町です。小諸なんかまだいい方ですよ。だって信号あるでしょ、小諸は！「信号がないんですよ、1個も」そんな所へ僕は行ったんです。それで町会議員諸君と話をして、「うちは信号1個もないんだァー」と言うもので、「じゃァー交通事故も起きないんですね！」と聞いたんです。「いやー、とにかくいやー」なんてごまかしているんです。何人かの町会議員ですから、「信号が1個もないという印象で東京へ帰られてはたまらない」と言うんで、「いやー1個はある」と言うんです。どこにあるんだと聞いたら、学校にあると言うんです。つまり子供達が広島街なんかに出て行った時に、交通信号がわからないと

困る。学校の授業で「はい、これが赤になったら止まらなくてはだめですよ！」と教わっている教材用の信号機が1個あったんです。こんな町だったんです。

この町に朝日町の連中がいっしょに行きましたが、かえってぶったまげて、朝日町の連中は、これからは俺たちの町を過疎地と言うのはやめようと言って帰って来たほどの町なんです。ですから、当然にもう高齢者社会です。若い人は誰も残らない傾斜地ですから。この所に谷川が流れてまして、ここに道路がついていて、この集落の所に、ちょうど八幡様があるもんですから、谷八幡という集落です。たまたまここにバス停があったんです。集落の役員の人達が、バス停があれば、雨宿りもしなければいけないと言って、ここに待合所を作ったんです。集落の役員の人達は「どうせ作るなら100年ものだ！」と言ってものすごいっぱな物を作ったんです。作ってできたら、ふっと気がつく。バスは1日に2回しか止まらない。朝1回、夕方1回ですから、つまり高校生が学校へ行くためのバスなんです。それで集落の問題になった訳です。「どうするんだ。こんな物作っちゃって！」。それでがたんがたんやっていたら誰かが「せっかくこれだけの物があるんだから、これでもって無人市をやってみようじゃないか」って。無人市の組合ができたんです。谷八幡無人市というんです。

約40人のおじいちゃんおばあちゃん達が中心になってやっている。これが結構儲かる。何もやらない人は儲からないけど、ちゃんと出す人は儲かる。それで段々欲が深くなってきました。「さらに儲けたい」。それで議論の末、この無人市の裏に減反の田んぼがある。この減反田んぼに池を掘って「ヤマメ」を飼う。水は大変良い水が流れてますから、完全に抗生物質を使わないでヤマメを飼えるんです。ヤマメの養殖をやるという話になったんです。そんな話をしているうちに、大工がおりまして、その大工が、この小屋に水車を付けちゃったんです。水車が回っちゃったんです。それでどうするんだと話をしていたら、無人市の人達が「水車でソバ粉をひいて、ソバ粉を売ろう。キロ1,500円位で売れる！」それがやがて信州ソバになったりする。信州ソバって本当になんですかね。信州ソバほど混合ってないんですね。本当にうまいものからまずいもの全部信州ソバですから。それでソバをやるという話になって、そのうちたまたま僕がよばれて行ったんです。それは40～50人の小さな部落。車でブーンと行きますと、傾斜地なもんですから、コンバインがきかない。みんなバインダーで刈っては、はぜ掛をやっているんです。「わー珍しいなァー」て思いました。千葉県なんかの場合、農協に出すのは全部コンバインで刈って、自分の喰う分だけはちゃ

んとバインダーで刈って、はぜ掛やって、天日干しして、やっぱりうまいなァーなんて思ったりするんです。そこは全部はぜ掛けなんですよ。すごいなァーと思ったのは天日干しです。行ったら水車が回っている。座談会が始まったんです。ソバをどうしようかなんてみんなでしゃべっていたんです。このソバはおいしいですよ。つまり水車でもって石臼でやれば、ソバに熱がもたないですから。ソバの風味がウーンと……感じに残る訳です。「それを売りたい!」「せいぜいキロ1,000円位で」「そんなに売れるもんじゃない!」なんて皆でワイワイしゃべっていたんですが、「小松さん、何かよい意見ないですか!」と言うから僕が言ったんです。「ずーと、ここまで車で来たが、あのはぜ掛ね。これはきっと、お米はおいしいにちがいない」と言ったんです。だいたい日本昔ばなしの所は、米はうまいですからね。きのう茨城のあるお母さんに話をしたんですが、茨城のおいしい米とは、砂の土地で冷や水の入ってくる所がうまいそうです。砂壤土の所で、山のしぼり水が入ってくるやつがうまいそうです。「そんな事はないんじゃないか。水口の所は、冷たくていい物ができないんじゃないか」これは信州の話。茨城はちがうって言ってました。茨城はそうじゃないんだって。つまり山のしぼり水が入ってくる所で砂壤土、もとも

と鬼怒川の暴れ川のあとですからうまい。その米は絶対に自分の家で喰うそうです。ただその米は、2等米になるそうです。1等米にはならないそうです。だいたいそのような所は、そのような米なんですよ。それで天日干しですから僕は「水車で米ついて水車でついた“水車米”で売っちゃったらいいんじゃないか」と言ったら、そしたらみんなが、そんな事言ったって、米なんか売れる訳ない。「売れる訳ねーたっ、ちゃんと信州上田の米は売っていたんですからね！」だから僕は言ったんです。「売れない訳がない。売り方なんかいくらかもある！」みんなこの村の人達は、お年寄が残っているという事は、自分の所の弟や伴や妹なんかみんな大阪や東京に行ってるんじゃないか。みな村を見捨てて兄ちゃんに学校出してもらいながら！こいつらを資源にした方がよいと。残った兄ちゃん達が電話をする。広島あたりにいる弟か妹に電話して「元気か」と言うと、「おかげ様で元気です」「最近盆暮れには来ねーな」「いや申し訳ございませぬ」と言う事になるでしょう。「最近、村も荒れて大変なんだ。昔、お前はおいらが、兎追いし彼の川いや、うさぎは川じゃないか、彼の山だね、「兎追いし彼の山！これは荒れているんだ。村は心配じゃないか」と言うと、必ずこれは「心配ですよ」と言うでしょう。その時に、「村を守る為に米を買え。悪い

けど1俵4万円になるぞ！」断わるやつはいません。したがってお兄ちゃん達が40人で1人で5人の消費者をつくります。感かして！そうすると40人×5人=200人の消費者を組織することができるんですよ。広島や大阪の兄弟や息子にそして「米は1年間になんぼ喰う？3俵か！」「いやそんなに喰いませぬよ」必ず言います。「バカヤロー！余ったら配れ！米を配ればウイスキーになって返ってくるんだ！」と。そうすれば「イヤーそうですか」と言って、しかも3俵を4万円を買ったって12万円では。これはボーナスの時ボンと払えますよ。3俵買うと12万円になります。そうすると200人の人が3俵ずつ買うと600俵の米を、この無人市は売った事になります。もちろん農協と話をつけてね！そうしますと4万円×600俵=2,400万円、こうなると谷八幡無人市はもう野菜なんか売ってられない。もう3,000万円企業ですよ。て言ったんです。そうかなアーと言っていました。これは売れます。高いやつは、だって5万円位で売っていますよね。

地域の宝は知恵

このようにして、本当に知恵を出していただく。そうすればいくらでもできる。つまり自分達の足元を良く見て足元にある資源と知恵を使って、そしてそれを生かし

ていくような、むらづくり・まちづくりを
考えてもらいたい。ですから、地域の宝と
は知恵なんですよ。

そこにある懐古園だとか、天然記念物と
か、そんなもんじゃない。懐古園とか天然
記念物だとか史跡なんて、自分で作ったも
んじゃないでしょう。誰かが作ったんでし
ょ！昔の祖先が。それをつくった先祖の人
達はそれを俺の宝と言ってもいいでしょう。
だけど、何もつくりません人間が、これは俺
の宝と言ってもしようがないですよ。

これはやっぱり自分で汗を流して知恵を働
かせて、本当の宝を自分で作った人間が、
それにこだわり、それを本当に大事にでき
る訳です。つまり無人市とか有人市、朝市
なんかでは、本当に自分が喰っている物を
売る訳です。こういうような無人市という
のは、民衆市場といいます。民衆市場とい
えばどういう事かといえば、産直なんかも
そうなんですけども、自分の住んでいる地
域で取れた物を地域で消費していこう。そ
れは地域で取れた物を地域で消費するのは
もはや商品ではない。つまり商品とは、要
するに金が儲かれば、なんでもやっちゃう
というのが商品です。それに対して民衆市
場というのは、これはやりとりなんです。

朝市に持って行く野菜を作っている時に
パッと虫が出てきた。「農薬をかけようか
な」パッと農薬をかけようかなと思った
時、固定客がついている訳ですから「パッ

と振ろうと思うと、パッと固定客の顔が浮
かんでくる」やろうと思っても、ヤバイ
と思って止めたりする。このような関係、
やりとりでもってできあがっていく世界が
実は民衆市場の世界なんです。そしてそこ
に、つまり農業をやっていく生きがい、あ
るいは人と人との出会い、喜びが湧いてく
る訳です。だから実は柳沢さんがやってい
る事なんかは、民衆市場づくりだ。そして
これは文化運動なんです。それは決して商
品の、商品販売じゃないんだ。むしろこれ
を僕は交換市場と言っているんです。も
とと交換とは、自分が本当に使う物を作
って、ちょっと余ったから、四日市とか六日
市に持って行って、そこで物々交換した訳
です。物々交換しない物については、お金
で交換したりした訳ですから、もともとは
本当に自分の使う物で余った物を持って売
りに行ったんです。

千葉県の茂原市にも市がたつんです。昔
から200~300年間もたっている市なん
ですが、それは、山の方の人達が山の物・畑
の物なんかを持って市に行きます。それか
ら海の人達は、その日にとれた魚をかつい
で来る訳です。昔の話を聞きましたら、や
っぱり物々交換をやっているんです。「俺
は魚6尾やるからお前の米1升よこせ」
「そりゃー高い！」とか、そのようにして
やりとりしているうちに、最終的に話が
つく。ですから、もともと商品ではないです

から定価はありません。これが本当の市場です。本当の市場では定価がない。

定価がないという事は、交換のやりとり、このやりとりが同時に楽しい。

よくアジアの方に行ったりしますと、ものすごくふっかけてきます。この間ネパールに行った時、僕ではないですが、いっしょに行った仲間が「ネパールのたばこ、これは土産にいい！」と。それでいくらかと聞いたら「500円」「高い！」と言ってこれをたたきにたたいて「100円」までまけさせた。これだけまけたんだから、これはいいと言ってガバと買って来た。あとの2人の仲間が同じタバコを買って来たのを見たら、これが「10円」だったんです。これが交換なんです。これが貴いのです。このようにして民衆市場がある。民衆市場の中から新しい可能性みたいなものをひとつは切り開いていく事ができるのではないかと思うのです。先ほどの谷八幡無人市も、1俵4万円の民衆市場だから成立するのです。これをセリでやってみるとか競争ではどうか。隣の町の米を持ってきて「これ、何ぼか？」と言ったら、これは1俵4万円なんかでは成立しない。人間と人間のやりとり、交換という関係があるから、これは成立するのです。ですから商品関係でない、もっと人間と人間のやりとりみたいなものをベースにした交換というものを、農業をやっていく

上で、やっぱり押えておいていただきたいと思うのです。それも、その可能性の世界みたいなものを、いろいろと開いていく事を考えてもらいたい。そうすれば、いろいろな可能性は出てくるものです。たとえば掛川さんの産直化にしても滝原マザーズにしても、これからもいろんな新しい展開が可能になってくると思うのです。掛川さんの所も、米の産直につなげたのです。生協と農協！ 20年の歴史です。

みんなで宝をつくる地域づくりを

先ほどの例の倶利伽羅紋町長の話、成東町の、そのPTAの話の少ししたいと思うのです。

なにしろそんな町なもんですから、町に住んでいる人達自身が「こんなしょうがない」「こんな文化的にレベルの低い町はない！」「こんな町では死にたくない！」とみんな自分で住んでいながら自分の悪口を言っていた町なんです。僕はよそ者ですから「そんな事ないんじゃないですか。この町だっていい所あるんじゃないんですか」と言うんだけど実際考えてみてもいい所ないんです。そこで困ったなァーと思っていたんです。そこで僕らの仲間でもって、山武ボランティア協会というものを作ったんです。14~15人の若い衆がつのってやったりしているんです。山武ボランティア協会のメンバーがだんだん大きくなってPT

Aになった。その流れですから、従来のようなPTAじゃなくて、もっとちょっと、やっぱり地域の問題に取り組めるPTAにしたいなァーと。ちょうどこの赤尾さん達のように、学校のいいなりになるPTAじゃなくて、もっと地域の事を考えるPTAになりたいねという事で考えた。役員になった連中が僕を呼んで勉強会をやったんです。PTAの主だった人と校長先生と酒を飲みながらいろいろ話をしたんです。そしたら校長先生が「小松さんは話を聞いていると、いろいろな事やっているようだね。ドロボー以外のたいがいの事やっているんだね」と。それで、韓国の小学校とうちの小学校と姉妹提携をやりたい。是非その橋渡しをしてくれないかと頼まれたんです。ちょうど僕はその時に、韓国のサムルノリグループを日本に呼んできて、全国で6ヶ所位コンサートツアーを組む事を考えていたんです。だいぶ決まっていたんです。僕達はやりたくなァーと思っていたんです。やりたくなァーと思っていた時に、成東町の小学校の校長先生が韓国の子供達と、これからは国際化時代ですから一番隣の国と交流をしたい。こっちも渡りに船です。だいたい「サムルノリ」とは、わかりますか？ソウルオリンピックの時に、頭にヒラヒラつけてグルグル回ったんじゃないですか。あれがそうです。そうすると、1市町村当たりだいたいあの時は僕らが本部にあげて

もらう上納金が30万円かな。あとサムルノリの連中が25人位いますから、彼らはホームステイしたりなんかしますから1市町村100万円位用意してもらう訳です。100万円位用意してくれる市町村を7ヶ所位つくらなければいけなかったんです。どこにしようかなァーと思っていたんです。そしたら校長が、こんな訳でやりたいと言うんで、僕はすぐ、この夏に韓国の芸能団を呼ぶから、その連中を介してやればすぐできると言ったんです。それにはどうしても役場がかんでと言ったら、校長が黙っちゃったんです。そしたらPTAの者達が「100万円位ならやっちゃいましょうよ！」となっちゃったんです。それでサムルノリの実行委員会ができた。それで3泊4日で彼等は来たんです。NHKの1時間番組でやりましたけどももうすごかったです。なにしろ韓国の若者達は、日本なんていうのは鬼畜米英みたいなものですから、なにされるかわからない。1軒2人位ずつ共に生活をしたんですけども最初はビクビクですよ。学校では、日本人てのは、あんなひどい者はいないって、さんざん教えられてくる訳です。非常に恐る恐る来る訳です。受ける方は、みんなと同じように、どっかのお父さん、お母さんですから、逆にやっぱり人情がありますから、本当に心からもてなしてくれる訳です。2泊3日位あったもんですから、本当に親せきみたいになる

訳です。そして、その後彼らは帰って行っ
たんですけども、その事がきっかけで、こ
の小学校と韓国の小学校との姉妹提携は進
みました。そうしましたら、サムルノリの
公演の時に通訳をやってくださった女性の
方がいたんです。この人は韓国から嫁さん
に来た人なんです。彼女は通訳をやってく
れた。祖国の為だから是非やりたいと言
うんで。

こうやって東金にハングルと日本語が十
分上手にできる女の人がいるんだという事
がわかった訳です。学校の方も姉妹提携を
やるとすれば、子供達はハングルを覚えな
ければいけない。PTAが酒飲み韓国へ
行ったってしょうがないですから。子供達
が絵や書道を送ったり、向うからも書道
を送ってきたり、やりとりをする訳です。

それからPTAの役員達は韓国に行って、
向うの先生やPTAの人達と交流をして
くる。2年位続いたんです。その関連で、ど
うしたかと言うと、学校の方は子供達にハ
ングルを教えなければいけないという事で
小学校5,6年生の特別授業をやるようにな
ったんです。

そうした時に、唯一、うちはおかげ様でも
って「韓国の子供達同士の交流をやっている
町です」と言えるのは、やっぱり最後の
ところで支えになっている感じがします。

成東町なんか何の資源もない所です。何
の資源もないけども、そこに住んでいる人

が、本当にこう、なにかをやりたい、ある
いはそこに住んでいる人が本当に自分の住
んでいる町を本当に誇りのある町にしたい
と思った時に、それはそういうものに動い
ていく。

ですから、宝というのは、そこに住んで
いる人達なんです。そしてそれは知恵なん
です。誰かが回りを見わたしたり、何かで
っかい物があるとか何とかという天然記念
物があるというのではなくて、そこに住ん
でいる人、その人達が持っている知恵、こ
れを本当に宝にしていく。そのような地域
づくりを是非やっていただきたい。そこに
住んでいる人と知恵を宝物にしていきたい
と思ったら、このフォーラムもその人達が
中心としてやらなければダメです。役場や
市役所が中心ではなくて、そこに住んでい
る人達が自分達で自分達のまちを考えるよ
うな「まち」「むら」づくりに取り組んで
いただきたい。終わります。